

国宝 観音猿鶴図のうち観音図(部分) 牧谿筆 中国・南宋時代 13世紀 京都・大徳寺〔後期展示〕

国宝 孔雀明王像(部分) 中国・北宋時代 11~12世紀 京都・仁和寺〔前期展示〕

— 蒼海^{うみ}を越えた —
ほとけたち

特別展

仏 SONG AND 宋
画 YUAN 元
B U D D H I S T
P A I N T I N G
E A R L Y C H I N E S E
M A S T E R P I E C E S
I N J A P A N
SEP. 20 - NOV. 16, 2025

求めたのは、最高峰の祈りと美。

2025年9月20日[土] - 11月16日[日]

前期：9月20日[土] ~ 10月19日[日]
後期：10月21日[火] ~ 11月16日[日]

*会期中、一部の作品は
左記以外にも展示替を
行います。

開館時間＝午前9時～午後5時30分（金曜日は午後8時まで）*入館は各閉館の30分前まで

休館日＝月曜日 *ただし、10月13日[月・祝]、11月3日[月・祝]は開館し、

10月14日[火]、11月4日[火]休館

主催＝京都国立博物館、毎日新聞社、京都新聞 協賛＝DNP大日本印刷、大和ハウス工業

京都国立博物館

KYOTO NATIONAL MUSEUM 平成知新館【東山七条】

第三章 宋代仏画の諸相―宮廷と地域社会

きわめて高度な絵画表現に達した宋代仏画はいかに生まれてきたのでしょうか？誕生の背景とともにその圧倒的な魅力を紹介します。

今から約千年前―中国に興った宋と、続く元の時代に生まれ、海を越え日本にもたらされた「宋元仏画」。
心のよりどころであった尊いすがたは、絵師の手本となるなど、長い時間をかけて日本の文化に深く浸透してきました。
大切に守り伝えられたほどけたちが集う、京都、秋の奇跡です。

第二章 宋元文化と日本

古くから中国の文物を大事にしてきた日本で、とくに尊ばれたのが「宋元」のものでした。足利將軍家のコレクションを筆頭に日本人が憧れてきた宋元文化を紹介します。

第二章 大陸への求法―教えをつなぐ祖師の姿

仏教の先進国だった中国に教えを求めて海を渡った日本僧。当地の僧侶に教えを受け、多くの文物を持ち帰りました。中国の祖師たちの肖像から、在りし日の交流が偲ばれます。

宋代仏画の最高傑作



国宝 孔雀明王像 中国・北宋時代 11～12世紀 京都・仁和寺〔前期展示〕

重要文化財 牡丹図
中国・元時代 14世紀
京都・知恩院〔前期展示〕



国宝 無準師範像
自賛 中国・南宋時代 嘉熙2年(1238)
京都・東福寺〔後期展示〕



高僧の面影を
ありありと伝える

雲上に立ち光をまとう



重要文化財 千手観音像 中国・南宋時代 12～13世紀 岐阜・永保寺〔前期展示〕
(画像提供：東京国立博物館)

重要美術品 曜菱天目(油滴天目)
中国・南宋時代 12～13世紀 東京・根津美術館
〔通期展示 ※黒漆天目台は後期のみ展示〕



重要文化財 元照律師像
道宣律師像・元照律師像のうち
中国・南宋時代 嘉定3年(1210)
京都・泉涌寺〔後期展示〕



第四章 牧谿と禅林絵画

南宋の禅僧画家・牧谿は、水墨画の名手であり、日本でもっとも愛された中国画家です。代表作「観音猿鶴図」を基点に、禅の絵画の豊かな水墨世界をご堪能ください。

第五章 高麗仏画と宋元時代

宋と元の隣国だった高麗では、高度に洗練された独自の仏画が作られました。宋元仏画との関連性とともにその魅力を紹介します。



重要文化財 阿弥陀如来像
朝鮮半島・高麗時代 14世紀
京都・正法寺〔前期展示〕

第七章 日本美術と宋元仏画

本展の最後に、宋元仏画がいかに日本美術の成熟の拠りどころとなってきたのかを見渡します。

重要文化財 阿弥陀三尊像のうち阿弥陀像
中国・元時代 至大2年(1309) 山形・上杉神社〔前期展示〕



彩り豊かな高麗仏画の名品

第六章 仏画の周縁―道教・マニ教とのあわい

中国で長く信仰されてきた仏教と道教は、互いに影響しあい、美術においてもそれぞれの要素が混在することがありました。視点を少し変えて、宋元仏画を見ていきます。



重要文化財 蝦蟇鉄拐図
顔輝筆 中国・元時代 13～14世紀 京都・百萬遍知恩寺〔前期展示〕

奇想の原点は顔輝？



重要文化財 群仙図屏風(左隻)
曾我蕭白筆 江戸時代 明和元年(1764) 文化庁〔前期展示〕

日本の絵師必修の
中国画家・
牧谿の代表作

ここが
すごい！
宋元
仏画

- ① 多くは国宝・重要文化財
出展総数150件以上、その約半数が国指定文化財です。
*2025年7月時点。今後増減する可能性があります。
- ② まとまって残るのは日本だけ
中国では古い仏画は更新され、また社会変動の中で失われたため、現存する宋元仏画の大半が日本にあります。
- ③ 中国絵画の神髄
聖なるすがたの理想を追求した、中国絵画の神髄をご覧ください。

◎トピック展示
中国受容と仏像／経絵の世界

【観覧料】(税込)

	一般	大学生	高校生
当日	2,000円	1,200円	700円
前売・団体	1,800円	1,000円	500円

●団体は20名以上。*中学生以下、障害者とその介護者1名は無料です(要証明)。●大学生・高校生の方は学生証をご提示ください。●キャンパスメンバーズ(教職員を含む)は学生証または教職員証をご提示いただくと、各種当日料金より500円引きとなります(当日南門チケット売場のみの販売)。

前売券・スペシャルチケット販売期間▶7月16日[水]10時~9月19日[金]

*2枚セット券は8月20日[水]までの販売 *単眼鏡、ステッカーは本展会期中、開館日、開館時間に、本展会場の特設ショップカウンターでお引き換えください。*チケットの販売場所など詳細は展覧会公式サイトでご確認ください。チケット購入時に手数料がかかる場合があります。

3つのスペシャルチケット

宋元仏画展の楽しみ方をご提案する特別なチケットです。

①ほぼすべて観る!

2枚セット券 3,400円(税込) 一般のみ

販売期間=7月16日[水]~8月20日[水]

本展では前期と後期で大幅な展示替を行います(一部作品は、前後期以外にも展示替を行います)。本展の「ほぼすべて」をお得に鑑賞できるセット券です。

*1名様2回、または2名様同時に、会期中いつでもご使用いただけます。展示替予定は展覧会公式サイトのお品一覧・展示替予定表をご確認ください。



前期
後期

②細部まで見る!

単眼鏡セット券

20,000円(税込) 一般のみ

100枚限定販売

緻密に描かれた仏の装身具や、禅の心を伝える筆づかいなど、本展は細部にも注目してほしい作品ばかり。そんな鑑賞のお供に単眼鏡セットをご用意しました。孔雀の羽根をイメージしたオリジナルデザインです。

*単眼鏡は限定枚数上限に達しない場合のみ本展会場特設ショップで在庫限り販売します。(会場販売価格:税込19,000円)



完成イメージ



国宝
孔雀明王像(部分)
京都・仁和寺
[前期展示]

③ロマンとともに魅る!

山田章博さんイラストステッカーセット券

2,000円(税込) 一般のみ

山田章博さんによる本展イメージイラストをステッカーにしました。ステッカーは本セット券のみで入手可能な限定グッズです。



「十二国記」シリーズ絵師・山田章博さんコラボ決定!!



小野不由美さんのベストセラー小説「十二国記」シリーズのイラストなどを手がける山田章博さんに本展のイメージイラストを描きおろしていただきました。宋・元時代の仏教文物を載せた船が日本を目指すドラマチックなワンシーンです。命をかけ海を越えた僧侶たちの思いとともに、宋元仏画が日本にもたらされ、今に残る奇跡を感じてください。会場では山田さんのイラストのコラボグッズも販売予定です。お楽しみに!

【音声ガイド】

ナビゲーター・
木村良平さん

俳優・声優として活躍する木村良平さんが、宋元仏画の絵画表現の魅力や制作の背景、日本への影響など、壮大な世界をご案内します。



会場レンタル版 650円(税込)

アプリ配信版「聴く美術」800円(税込)



*アプリ版では展示替を含む、全ガイドを収録しています。

【記念講演会】

会場:平成知新館 講堂(地下1階)

時間:午後1時30分~午後3時

9月27日[土]

幻視と示現—宋元仏画の視覚表象—

井手 誠之輔氏(九州大学名誉教授)

10月11日[土]

戦国武将と宋元画

羽田 聡(京都国立博物館 企画室長兼美術室長)

10月25日[土]

奄然請来の仏典とその影響

上杉 智英(京都国立博物館 主任研究員)

11月8日[土]

宋元の道釈人物画—境界をうつろう聖者—

森橋 なつみ(京都国立博物館 研究員)

*定員200名、聴講無料(ただし、本展覧会の当日観覧券が必要)。

参加ご希望の方は、京都国立博物館ウェブサイト

(<https://www.kyohaku.go.jp/>)よりお申し込みください。

8月26日[火]10時より受付開始(予定)。

【国際シンポジウム】

特別展「宋元仏画」開催記念 国際シンポジウム

「日本に請来された“宋元仏画”をめぐる」

日時:10月17日[金]午前9時~午後5時 会場:京都国立博物館 平成知新館 講堂

／オンライン(予定) 詳細は京都国立博物館ウェブサイトをご覧ください。<https://www.kyohaku.go.jp/>

展覧会公式サイト

<https://sougenbutsuga.com>

公式X・Instagram

@sougenbutsuga



【アクセス】

◎JR・近鉄=京都駅下車、駅南バスD2のりばから206・208号系統にて博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ ◎京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分 ◎市バス=博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ

*ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております。



京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM 平成知新館【東山七条】

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

電話 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>